瓶陵新聞

2024年8月31日
第２８２号

発行
島根県立
大田高等学校
文芸・報道部

さあ大高祭

大高祭の準備始まる
工夫を凝らして着々と
大高祭準備

9月2日から4日にかけて行われる、大田高校の学園祭「大高祭」の準備が夏休みが終わった8月22日から始まった。大高祭の準備が始まったときは雨が降らず、気温も高かったが大高祭の始まりに近づくと台風10号も日本列島に近づき、その影響もあり予定は変更された。

大高祭は今年度「HERO」というステーマを掲げ、学級や部活動、生徒会活動などで、工夫を凝らしながら、準備に取り掛かっていた。

8月30日には、一日を通して、大高祭の準備をした。この日は、2年生のクラス展示、部活動や委員会の展示、生徒会企画の催し物を準備したり、校舎内の物の配置をしたりした。午後からの体育祭のパフォーマンス練習は、台風10号が日本列島に上陸した影響で雨が多く降り、屋外での練習が出来ず屋内で、練習することとなった。

8月31日には、大高祭のリハーサルがあった。もともとは屋外で体育祭の競技の練習や確認がある予定だったが、これも台風10号の影響で降った雨で予定を変更し、パフォーマンス練習はすべて室内で、競技の練習や確認は体育館下のピロティや柔剣道場前で行われた。

大高祭は、9月2日の午前中に、大田市民会館を会場として、1年生の合唱コンクールと吹奏楽部による吹奏楽講演会、生徒会企画、大田高校卒業生の講演会がある。9月2日の午後と9月3日では会場を大田高校に移し、校舎内での2年生のクラス展示、部活動や委員会の展示、生徒会企画の催し物がある。体育館のステージでは、ダンスや歌を披露するステージイベント（MIF）がある。9月5日には大田高校グラウンドで、体育祭がある。

また、今年度の大高祭も、外部の人たちの来場を制限し開催した一昨年度までのものを変更した前年度と同様に、保護者や地域の人たちなどの外部の人たちも制限なく、誰でも来場することが出来る。

体育祭のパフォーマンス練習をする大高生（大田高校体育館）

パフォーマンス練習

8月22日から午後の時間を使って、体育祭のパフォーマンスの練習があった。パフォーマンスの練習は、分団ごとに分かれて行われた。1年生と2年生は、3年生からパフォーマンスで踊るダンスを教えてもらっていた。

また今年度から、パフォーマンスの練習は熱中症対策として、体育館と冷房の効いた教室で分かれて行われてた。29日には、各分団が30分ごとに交代し、体育館の全面を使って練習した。

パフォーマンスタイムは、9月4日の大高祭3日目の体育祭の1番初めにある予定だ。

2学期始まる
始業式 表彰式
逆境は工夫して乗りこえろ

7月23日から始まり約30日続いた夏休みは、8月20日が最終日で翌日の21日に、大田高校の2学期の始業式と表彰式、があった。今回も1学期の終業式と同じく、熱中症対策としてリモート形式で行われ、生徒は各々の教室で話を聞いていた。

表彰式は、夏休みの間にあった大会やコンクールの表彰式があり、該当する部活動や個人の活動が表彰された。表彰を受けた生徒は、応援に感謝した。

表彰式の後には、2学期の始業式が始まった。校長訓話で、部員6人で高校総合体育大会（インターハイ）に出場した、和歌山県のある高校のバスケットボール部について語った。このバスケットボール部は経営難で廃校が決まっており、その年の生徒が最後の生徒だった。施設は脆く、現代バスケットボールは走るバスケが主流だが、走ると体力の消耗が激しいため、走らないバスケをモットーにしていたという。そのことを例に挙げて「逆境は工夫をして、乗りこえろ」と生徒に語った。また、夏休み中に合った、パリオリンピックやインターハイ、甲子園大会での大社高校の躍進にも触れて「何事もやればできる」と語られた。

2学期は、部活動の新人戦や選手権予選があり、9月には大高祭、10月には、2年生の研修旅行やロードレース大会、12月には1年生と2年生の球技大会があり、たくさんの行事がある。3年生の中には、受験が始まる人や夏休みの間に始まっている人もいる。

コラム 熱中症から身を守ろう

大田市の最高気温が30度を超える日が何日も続いており、気温が28度を超えると熱中症のリスクが高まる。

熱中症の予防として、涼しい服装をすること、日傘や帽子を使用すること、水分や塩分を普及すること、木影や屋根の下などの太陽の光が当たらない場所にいることが大切である。また冷房の効いた涼しい部屋にいることも大切だ。

大田高校でも多く見られるようになった手持ち扇風機。熱中症予防には大きな効果があるが、注意したいことがある。外気温が35度を超すと逆効果で、熱中症になってしまうこともあるということだ。冷房の効いた部屋などの涼しい空間で使用することが大切である。

大田高校では、9月には体育祭が、10月にはロードレース大会あり、その時にも熱中症対策をしていきたい。

合唱準備

1年生は午後の時間や、放課後の時間を使って合唱の練習をしていた。合唱練習は、各教室だけでなく、それ以外の教室も使って練習をした。

1年生のある生徒に話を聞くと「はじめはみんな音が取れていなかったけど、最近はみんな音が取れてきている」と語った。

クラス展示準備

2年生はクラス展示の準備をしている。学級でクラス展示の案を出したり、企画を練ったりしていた。学級で意見を出し合って、意見がまとめてから、準備が始まった。クラス展示で必要な物を工作や購入をしていた。

8月30日には、展示するクラスに移動し展示の準備を始め、翌日には、ほぼ完成のかたちとなった。大高祭当日に、審査される。

千里眼

▼8月7日から始まった夏の高校野球選手権大会。島根県代表の大社高校は、春の選抜大会準優勝校の報徳学園高校（兵庫県）と8月12日に試合をし、3－1で勝利し、続く試合も延長タイブレークのすえに、15日に創成館高校（長崎県）に5－4で、早稲田実業（東京）に3－2で勝利した。その後の準々決勝では、神村学園高校（鹿児島県）に惜敗しベスト8で終わった。▼大社高校は小技や盗塁を駆使して試合をする、いわゆるスモールベースボールで勝ち上がった。この戦い方は、ホームランや、長打などの派手さがなく、見ていてつまらないと評価されることもあるが、チームが1つとなって勝利を目指す連帯感が生まれるということもある。▼大田高校では大高祭に向け、準備を進めている。それぞれのクラスや分団が1つとなり連帯感を生みだして、大社高校野球部のスモールベースボールのように、1人ひとりが大高祭の成功を目指していきたい。（岡）

編集後記

8月も終わりが近づき、だんだん気温は下がっているが、熱中症のリスクはいまだに低くなっておらず、正しい熱中症対策をして、自分の身を防ぎ、また油断せずに生活をしていきたい。この夏も熱中症対策は大切だと感じた。（岡）